



イラスト出典：アサヒ写真ブックS5
昭和31年11月20日発行

超深海へのトビラ

私たちが拓いた調査の軌跡

2023.7.31(月)～11.6(月) 平日10:00-16:00

国立大学法人東京海洋大学

入館料無料

開催場所：東京都港区港南4-5-7 (品川駅港南口から徒歩約10分、天王洲アイル駅から徒歩約15分)
東京海洋大学品川キャンパス マリンサイエンスミュージアム及び附属図書館

入館料：無料

主催：国立大学法人東京海洋大学

協力：特別展「海—生命のみなもと—」、デンマーク超深海研究センター、日仏海洋学会、
西オーストラリア大学深海研究センター

後援：オーストラリア大使館、在日フランス大使館科学技術部、ミクロネシア連邦大使館

お問合せ：03-5463-0430 (マリンサイエンスミュージアム)、03-5463-1609 (東京海洋大学広報室)

※期間中、臨時閉館となる場合がございますので、マリンサイエンスミュージアムのWebサイトをご確認の上、ご来館ください。

バチスカーフによって 神秘にとざされていた
 日本海溝のトビラは おしひらかれた
 わが国の深海調査は その小さな観測窓から夜明けをむかえた
 ひとたびひらかれたこのトビラは
 もはや ふたたびとざされることはないだろう

写真等出典 昭和31年1月20日発行「アサヒ写真ブック85」

1958年、フランスの潜水艇バチスカーフの窓から観察しメモをとる、佐々木 忠義教授
 本特別展では、潜水当時の音声を公開

超深海へのトビラ

私たちが拓いた調査の軌跡



セミクジラとコククジラの全身骨格展示

展示内容

特別展「深海へのトビラ 私たちが拓いた調査の軌跡」

- ・1958 日本初の有人潜水船での深海調査
- ・1962 日本人初となる水深 9,545 m への潜航に成功
 (その後 60 年間にわたり記録保持)
- ・2017 世界最深部への挑戦
- ・2022 日本周辺に広がる超深海
- ・深海調査の現場

深海で発見された新種のクジラの頭骨化石も展示します。

常設展

- ・コククジラ、セミクジラの骨格標本展示「鯨ギャラリー」
- ・歴代の練習船コーナー (船の模型展示)
- ・南極海観測、ガラパゴスコーナー
- ・魚類、甲殻類等のはく製コーナー
- ・登録有形文化財「雲鷹丸」(実物のパーク型帆船)

マリンサイエンスミュージアム Twitter



魚類や甲殻類等、様々な海の生き物のはく製や標本



宗谷の第一次南極観測随伴から続く、本学の南極海観測の沿革



登録有形文化財「雲鷹丸」